



みなさんは「環境にやさしいこと」をしていますか？エコカーやマイバッグなど、最近ではエコに関することが話題になっています。そこで今回は、エコ活動を積極的に行っている北区の学校や団体を、札幌拓北高校写真部員が紹介します。

みんなで環境にいいことをしよう！
～百合が原小学校の取り組み～



温度を測って土をまぜる作業を毎日繰り返します



ダンボールに入った土に残った給食を入れます

取材に向かったのは百合が原小学校。積極的にエコ活動を行っている学校です。その中で体験させてもらったのは「生ごみの堆肥化」。百合が原小学校では、環境委員の児童たちが、給食で残った生ごみを肥料にする取り組みを行っています。発酵させた土に生ごみをいれ、毎日かきまぜると3カ月ほどで肥料になり、校内菜園などに使用します。印象的だったのは、児童たちが笑顔で楽しそう

に作業をしていたこと。ある児童は「友達と協力して活動するのがうれしです。環境にいいことをしている実感があります」と話します。この活動が始まってからは、食べ残しも減ったとのこと。児童たちは食べ物を大切に

にする心も学んでいるようです。他にもリングブルを集めたり、1カ月の水道や電力の消費量をグラフにして張り出したりするなど、しっかりとした目的意識を持って、身近なエコを上手に見つけて活動していました。

取材を通して学んだことは、エコ活動に大切なのは意識の持ち方ということです。ごみ分別や節水・節電といった身近なことも立派なエコ活動。難しいことではありません。みなさんも、生活の中からエコ活動を見つけてみませんか。

編集後記



たかはし むつみ 高橋 睦 記者

取材中、小学生のみんなが真剣に環境問題について考えていることに驚きました。楽しんで活動をしている姿がとても印象的でしたね。



あおやま ひとみ 青山 瞳 記者

生ごみの堆肥化は初めての経験でした。児童のみんなを通して、協力することの大切さを学びました。見習う部分がたくさんありました。



よも かおり 四方 かおり 記者

百合が原小学校を取材して、エコ活動は身近にあること、そして日々の積み重ねが重要だと教えられました。私も何か、環境にいいことを始めたいです。



たかやま あん 高山 杏 記者

エコの意識をしっかりと持って活動している百合が原小学校のみんなは本当にすごいです。少し心がけるだけで、エコ活動は始められると気づきました。

のエコ します!